

小川ひなた荘だより

新年の始まりは餅つき大会!



～笑顔がある生活を目指して～

1月12日に毎年恒例の餅つき大会を開催しました。

ふかしあがったもち米が登場するとドッと歓声があがり、皆様の表情も輝きだしました。今となっては臼と杵で餅つきをする光景は珍しいものになってしまいましたが、昔はこの家庭でもやっていたようです。掛け声に合わせて順番についていただき、とっても美味しいお餅ができました。

お餅つき

ヨイショ、ヨイショ！



皆で餅つき楽しいね！



法被を着ると雰囲気
がでるね



新人職員も頑張りました。



卯年のお二人で記念撮影！



こんなに伸びるよ～

小さなお話

これはご利用者の方からお聞きした
お話を元にしたフィクションです

わたしにはたくさんの兄弟がいたよ。何人だったっけな？
とっさに思い出せないほど、とにかく多かった。昔はどこも兄弟が多かったから、兄ちゃんたちが弟、妹たちの面倒を見てくれてたんだよ。一番最初に教えてもらったのは数の数え方だったかなあ。兄ちゃんたちとどれくらい年が離れているかで数を教えられたんだよ。一番目の兄ちゃんが十二歳だとしたら、二年後に生まれた二番目の兄ちゃんが十歳で、それから：という風だね。

兄弟が多いとお母さんが大変だから、年が上の子どもたちで家のお手伝いをするんだよ。それでお手伝いをしている兄ちゃんたちがすごく大人に見えて、わたしも早く大きくなりたいなあって思ってたっけ。

食べるものも昔は豊富じゃなくて、限られたものしかなかったけど、やっぱりお母さんや兄ちゃんたちは優しいから、わたしや妹たちに「お前、食べるよ」「食べて大きくなるんだぞ」って譲ってくれた。だから好き嫌いなんてできなくて、なんでも食べるようになったね。でも、それが長生きの秘訣だったのかもね。

テレビなんか家にはなかったから、よくテレビのある家まで見に行っていたよ。夕飯の時間になって家族が呼びに来るまで、ずーっと立ちながらテレビを見ていたんだよ。それが何より楽しみだね。懐かしいなあ。もう九十年以上も前の話だよ。よく覚えてるって？そりゃあ、小さい頃の思い出は不思議と覚えているものだよ。



大正、昭和、平成、令和と四つの時代を生きてきたけど、どの時代もそれぞれ大変なことはたくさんあったよ。長生きすることとは本当に良いことなのか？って世間では問われたりしているけれど、今となっては生きて良かったなあ、って思うよ。食べるものや着るもの、住むところに不自由しないってとっても幸せなことだね。終わりにやればすべてよし、ということわざがあるけど本当にその通りだと思う。今は孫がひ孫を連れて顔を見せに来てくれるから、それが最近の楽しみかな。



おしゃべりクラブ

「お花見」

まだ寒い日が続きますが、あと一、二か月もすればお花見の季節がやってきますね。少し早いですがお花見の思い出について聞いてみました。

A様…お花見はどこに行きましたか？
近所のつつじが丘に行った。近くに軍隊があつて「気をつけ！」って聞こえてたなあ。母がごちそうを作って待っていてくれたからなにも食べずに行っちゃったよ。せっかく作って待っていてくれるのにおなかがすいてないと食べられないからね。作って食べさせてくれるのが母の楽しみだったからね。



B様…この建物の周りにさくらが咲くよね。俺の部屋からよく見えるよ。家にいた頃は小川警察署の裏の槻川の広場でお花見したよ。近所の奥さんがおつまみ作って持ってきてくれた。お酒も飲んだよ。楽しかったなあ。

C様…深谷の滝宮神社に行ったなあ。駅の裏にあるよ。
職員…誰とお花見行きましたか？
C様…友人と行ったよ。

D様…高麗神社に桜を見に行った。きれいだったよ。出店もあつてだんごやまんじゅうを買って食べたよ。まんじゅう好きだからうれしかった。若い時はお酒も少し飲んだよ。高麗小学校と中学校にも桜が咲いて入学式のころ満開になりきれいだっ



皆さんお花見のことをとてもよく覚えていてようで、場所の名前や食べたものなど思い出して懐かしそうに話していました。

私も子供のころ、寄居町にある円良田湖に毎年お花見に行きました。湖の周りにたくさん桜が植えてありそれは見事な景色でした。家族、親戚など大勢で手作りのお弁当や飲み物などを持参してにぎやかにしていたことを覚えています。

ここ三年お花見は以前のように楽しむことは出来ませんでした。今年以前のよう楽しめるようになるといいですね。

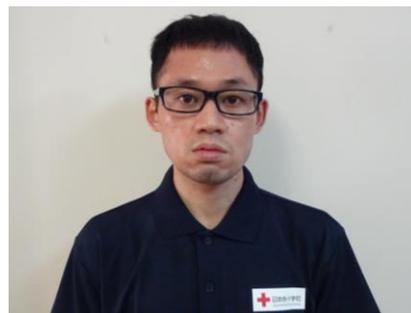
今年もよろしく お願い致します

元日のお昼におせち料理とノンアルコール飲料で乾杯をしました。炭酸飲料が好きな方も多く、普段はあまり飲めない味に大変喜ばれていました。豪華なおせち料理は利用者の皆様からも好評でした。



新規採用職員のご紹介

介護職員 大木 駿



今年の1月に新しく採用になりました、大木駿と申します。以前も特別養護老人ホームで勤務しておりました。まだ未熟で覚えることがたくさんございますが、どうぞよろしくお願いたします。

職員によるクリスマスコンサートを行いました

12月24日と25日に2日間にわたってクリスマスコンサートを開催しました。24日はウクレレのミニリサイタル、25日にはピアノとハンドベルでクリスマスらしい歌を演奏し、皆さんと一緒に歌を歌いました。歌が得意な利用者様に、皆の前で歌を披露していただきました。



季節の花言葉

「シクラメン」

シクラメンは秋の終わりから春にかけての寒い時期に花を咲かせます。シクラメンの花言葉は「遠慮」「内気」「はにかみ」といった控えめなものばかりです。これはシクラメンの咲く様子がまるで恥ずかしがってうつむいているように見えることが由来と言われています。

また、赤いシクラメンはまるで真っ赤に燃え盛る嫉妬の炎のように見えることから、「嫉妬」の花言葉も持っています。

